

教科	数学	科目（単位数）	数学Ⅲ(5)、数学B(2)	学年	3	類型	理系
学習目標	<p>(数学Ⅲ) 極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。また、複素数をもつ代数的な性質と、座標平面上の図形をもつ幾何的な性質の関連について考察できるようにする。</p> <p>(数学B) 数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。</p>						
期間	単元（学習内容）	学習の到達目標				自己評価	
年度初～ 1学期 中間考査	数学Ⅲ 微分の応用 積分とのその応用	<ul style="list-style-type: none"> ・接線や関数の増減、最大・最小や方程式・不等式への応用など、様々な微分の活用法を理解する。 ・様々な関数の不定積分法を理解する。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期中間～ 期末考査	数学Ⅲ 積分とのその応用 複素数平面 平面上の曲線	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な関数の定積分法を理解し、いろいろな図形の面積や体積、曲線の長さを求めることができる。 ・2次曲線の性質を理解し、媒介変数表示による図形の把握ができる。 ・複素数平面の意味を理解し、複素数を図形的に表すことのよさがわかる。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
1学期期末～ 2学期 中間考査	数学Ⅲの問題演習 数学ⅠAⅡBの記述型演習	<ul style="list-style-type: none"> ・記述型の演習を行う中で、論理的に相手を説得する論述を学ぶ。また、自由な発想により、様々な視点からの解法があることも学ぶ。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期中間～ 期末考査	数学Ⅲの問題演習 数学ⅠAⅡBの記述型演習 数学ⅠAⅡBのマーク型演習	<ul style="list-style-type: none"> ・マーク型演習を行う中で、他者の思考プロセスを理解する力を育み、論理的な思考法を学ぶ。また、それらをきっかけに自らの課題に対するアプローチの手法の深化を図る。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
2学期期末～ 年度末	数学Ⅲの問題演習 数学ⅠAⅡBのマーク型演習 数学ⅠAⅡBの記述型演習	<ul style="list-style-type: none"> ・マーク型演習や、記述演習を通して、大学入試等に対応できる力をつけることはもちろんであるが、さらに、確かな数学的論証力をつけることで、これからの社会の中で、活躍できる力をつける。 				取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D	
使用教材 (教科書・副教材)	教科書：「数学Ⅲ」（東京書籍）、「数学B」（啓林館） 副教材：「サクシード数学Ⅲ」（数研出版）、「ニュースコープ数学Ⅲ」（東京書籍） 「ニューグローバルマーチ数学ⅠAⅡB」（東京書籍） 「2020進研重要問題演習数学」（ランズ）、センター直前予想問題集数学ⅠAⅡB（Z会）						
学習方法	予習・授業・復習のサイクルの徹底。 （抜けている分野をなくす、苦手分野の克服）						
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業態度（数学に興味関心を持って授業に取り組んでいるか）						